

# クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金

平成27年度概算要求額 300.0億円（300.0億円）

製造産業局 自動車課

03-3501-1690

## 事業の内容

### 事業の概要・目的

- 環境・エネルギー制約への対応の観点から、我が国のCO<sub>2</sub>排出量の2割を占める運輸部門において、電気自動車等の次世代自動車を普及することは重要です。
- また、次世代自動車は、今後の成長が期待される分野であり、各国メーカーが次々と参入を予定するなど、国際競争が激化しています。
- 加えて、電気自動車等の大容量蓄電池を活用したピークシフトへの貢献等、エネルギーマネジメントシステムの一環としての電気自動車等の役割についても期待が高まっているところです。
- 一方、現時点では導入初期段階にあり、コストが高い等の課題を抱えています。このため、車両に対する負担軽減による初期需要の創出を図り、量産効果による価格低減を促進し、世界に先駆けて国内の自立的な市場を確立します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 補助対象

- 車両
  - ・電気自動車
  - ・プラグインハイブリッド自動車
  - ・クリーンディーゼル自動車（乗用車）
  - ・燃料電池自動車 等

#### 電気自動車



#### プラグインハイブリッド自動車



#### クリーンディーゼル自動車



#### 燃料電池自動車



# 水素供給設備整備事業費補助金

平成27年度概算要求額 110.0億円（72.0億円）

【うち優先課題推進枠65.0億円】

資源エネルギー庁

燃料電池推進室

03-3501-7807

## 事業の内容

### 事業の概要・目的

○燃料電池自動車（FCV）は、水素を燃料とする自動車で、国内外の自動車メーカーによって、開発競争が進められており、日本でも2014年度中にも市場投入が予定されています。

○本事業では、FCVの市場投入を踏まえ、FCVの普及の促進及び早期の自立的な市場の確立を目指すため、水素供給設備の整備費用の一部を補助します。

○また、FCVの潜在的な需要を喚起するとともに、今後の水素供給設備の適切な整備・運営方法を確立するため、水素供給設備を活用した燃料電池自動車の新たな需要創出等に必要活動費用の一部を補助します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

補助

補助(定額, 2/3, 1/2)

国

民間団体等

民間企業等

## 事業イメージ

### 四大都市圏への集中整備

- ▶ 燃料電池自動車の需要が高い地域への効率的な水素供給設備の整備
- ▶ 四大都市圏を中心とした地域に累計100箇所の整備を目指す

[水素供給設備の採択状況]

- ・首都圏 : 23件 (26箇所)
- ・中京圏 : 10件 (11箇所)
- ・関西圏 : 4件 (4箇所)
- ・北部九州圏 : 4件 (4箇所)

※ ( ) は運用箇所数  
※平成26年7月末現在



### 新たな需要の創出等

- ▶ 水素供給設備を活用した燃料電池自動車の需要喚起



[新たな需要創出活動の例]

- ・潜在的なユーザーに対する広報、需要喚起活動
- ・水素供給設備の利便性確保に必要な活動 など

### 水素供給設備

